



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

農林水産大臣賞

ＪＡ東京むさし小平地区

(東京都) 活動期間 18年

学校給食への地場産農産物供給を起点とした「食べて学んで体験する」食育活動

ほぼ毎日 地場産農産物を供給

小平市は地場産農産物を使った「地場産学校給食」の取組を積極的に進めており、市内全公立校への配送体制を支えているのが「ＪＡ東京むさし小平地区」（令和元年度の地場産導入率は31.4％）です。

給食の出荷調整だけではなく生産者による出張授業や各校の学童農園による体験学習など、多角的に食育活動に取り組んでいます。



おいしい給食 いただきます！

都市にあって 貴重な農業体験を提供

ＪＡが生産者とのつなぎ役となり、市内全ての公立小学校において農業体験を提供する学童農園事業や花壇整備事業を実施しています。

この活動により、児童にとって生産者が身近な存在となり、農業に対する理解が深まるとともに、給食の食べ残しの減少にもつながっています。



学童農園成果物展示

事業で整備された花壇への植え込み

ＪＡ・生産者・栄養士・行政 が一体となって

学校給食の地場産導入率の向上に当たり配送面と費用面がネックとなっていました。配送面の整備に対する補助金制度と、各校の給食運営費に地場産農産物の使用実績に応じた補助金制度が整備されたことにより、導入率を大きく伸ばすことができました。



関係者による
目合わせ会

後継者団体による
出張授業



この活動は、栄養士の皆様を初めとする学校及び市の関係者、そして生産者等、多くの協力者によって成り立っています。

全ての皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも子供の未来のために更なるご協力をお願いいたします。

ＪＡ東京むさし小平支店 指導経済課
課長 本多 真道